



沼高トピックス かるた大会編

第189号 令和7年1月20日(月)発行



1月14日(火)6限目に、1年生全員が参加して百人一首かるた大会が行われました。

1年生は2学期末考査以降に国語の授業で、何回かかるた取りの練習を行い、冬休みの課題として百人一首の暗記をして、この大会に臨みました。

試合は5対5の団体戦で、1チームの10人が前半と後半に分かれて試合を行いました。



読み手は2組担任の池本先生でした。池本先生は他校で競技カルタ部の顧問をされていたことがあり、先生が本格的な詠み方で和歌を詠みあげると、対戦場所のあちこちから札を取った歓声が聞こえてきました。



試合は後半になるとさらに白熱し、札を取った時の歓声も一段と大きくなりました。

順位は、まず試合に勝利した数が多いクラス。勝利数が同じ場合は、場に残った札が少ない方が上になります。気になる順位は

1位 8組(4戦 4勝)

2位 1組(4戦 3勝)

3位 7組(4戦 2勝)



2勝のチームは4クラスありましたが、残った札が少なかった7組が3位となりました。勝ち負けはありましたが、どの試合も接戦でした。札が1枚の差で決まった試合もありました。寒さも忘れ、クラスの仲間で協力して最後まで熱い戦いが繰り広げられました。